

UNIVERSITY OF FUKUI

Graduate School of Medical Sciences, Master's Program in Nursing



2021

福井大学大学院

医学系研究科
修士課程
看護学専攻

Message 研究科長あいさつ



医学系研究科修士課程(看護学専攻)は、基礎看護学、成人看護学、災害看護学、地域看護学、老年看護学および母子看護学の各教育研究分野において、幅広く高度な看護理論・技術を有し、高度専門的看護ケア実践能力を備えたリーダーとなる人材や、優れた指導的役割を担う教育・研究者および国際社会に貢献できる人材を育成しています。

主に「基礎看護学」では、看護ケアの質やプロセスなどについての研究。「成人看護学」では、成人期における身体的健康問題や精神疾患などについての研究。「災害看護学」では、災害時の諸問題に対する実践的な研究。「地域看護学」では、地域住民の様々なライフステージを対象とした看護支援の研究。「老年看護学」では、高齢者を取り巻く環境における看護実践の研究。「母子看護学」では、母子を取り巻く健康問題などライフサイクルの視点で研究を行っています。

また、日本看護協会認定の専門看護師(CNS)の養成を行うため、「災害看護(平成25年)」「がん看護(平成26年)」および「老年看護(平成29年)」の専門看護師教育課程の認定を受けています。

本専攻は有職者が離職することなく修学できる体制が取られ、多くの人は病院などに勤務しながら、勉学・研究に励んでいます。その研究成果は各専門領域で高く評価され、卒業後は保健医療福祉や看護教育の場で活躍して、地域保健医療福祉に大きく貢献しています。専門性の高い優秀な教員を中心に、教職員一丸となって指導にあたっていますので、最適な環境で安心して勉学に励むことができます。多くの方が指導的な役割を果たす高度職業人や教育研究者としてのキャリアアップを目指し、本学の修士課程(看護学専攻)に入学されることを心待ちにしています。

福井大学大学院医学系研究科 研究科長 **藤枝 重治**

Admission Policy 入学者受入れの方針

教育理念・目標

21世紀の社会で活躍できる優れた人材、高度専門職業人を育成します。

- ①高度な知識を有し、科学的・論理的な思考で高い水準の医学系研究を遂行・発信できる研究能力を有する看護学研究者
- ②先端的で高度専門的な臨床技能を提供できる実践能力を有する看護職
- ③地域、国及び国際医療に貢献ができる臨床研究能力や教育的指導力を備えた質の高い高度実践看護師

求める学生像

理念・目標を達成するために、

- ①高度な専門性を有しかつ社会性に富み、
- ②地域医療に貢献する志を持ち、
- ③新たな課題に取り組み、研究能力を身につける意欲がある人を求めています。

Curriculum Policy 教育方針

医学系研究科修士課程では、本学の教育理念・目標に基づき、豊かな人間性と高い倫理観、幅広い知識と理論に基づく根拠のある技術力を有し、高度専門的看護ケア実践能力を備えた看護職のリーダーとなる人材を育成すること、また、地域保健医療福祉に貢献できる看護職および看護学を体系化・深化させる研究を遂行できる指導的役割を担う教育・研究者を養成することを目的としています。これらの目的を達成するため、「看護学専攻」のもと、「基礎看護学、成人看護学、災害看護学、地域看護学、老年看護学および母子看護学」において、優れた看護学の知識と技能を修得する論文課程と、卓越した看護実践能力を修得する専門看護師(CNS)教育課程を設け、複数の大学院担当教員により体系的に教育・研究指導を行います。

Diploma Policy 学位授与の方針

各課程の目的に照らして、大学院生が修得すべき学習成果の達成を学位授与の方針とします。

具体的には、医学系研究科修士課程に2年以上在学および所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格することを修了要件とし、修了者には「修士(看護学)」の学位を授与します。

Outline 教育研究区分別教育研究概要

教育研究区分

教育研究概要

教員の紹介

基礎看護学

Basic Nursing

看護ケアの質の評価、看護者と患者のかかわりのプロセス、看護者の健康管理に関する問題、健康障がいと保健行動、看護援助のプロセスの中で生じている看護現象、援助技術の科学的根拠など基礎看護学領域に関する課題について、量的、質的に研究します。
看護の対象である人間の身体的、精神・心理的、社会的側面から評価する為のアセスメントツールの開発をします。また、看護ケアが及ぼす生理的・心理的效果について実験研究を通して科学的・心理学的評価を行います。

P.8~

成人看護学

Adult Health Nursing

身体的健康問題もしくは精神疾患をもつ成人期にある人及びその家族を対象とした看護について、発達理論、セルフケア理論、危機理論、ストレス・コーピング理論、精神力動理論、そして対人関係理論などの主要理論を基盤に探求します。
主要課題は、成人期にある人の健康問題と健康管理行動の認識と構造、セルフケア理論を活用した健康ケアとその効果、慢性的な健康障がいにおける対象の生活の質、手術・救急などクリティカルな健康障がいにおける対象の特性と援助プロセス及びその効果、精神看護学領域における中範囲理論の構築、並びに個人及び集団を対象とした看護介入と評価です。

P.11~

災害看護学

Disaster Nursing

災害が社会の変化や地域の人々の暮らしと密接に関係しながら、人々の生命や生活に影響を及ぼすことを理解し、社会における看護の役割を果たすために必要な災害各期の看護活動を探求します。災害時の諸問題にアプローチする実践的な援助方法や被災者および支援者が抱える諸問題や看護介入について研究します。

P.13~

地域看護学

Community Health Nursing

地域に在住する乳幼児から老人までのさまざまなライフステージの人々を対象者として、ヘルスプロモーション、疾病予防、疾病の回復促進、リハビリテーション、QOLの向上のための看護支援を探究します。
地域住民の健康レベルは健康な人から疾病・障がいをもって生活する人まで多様です。それらの人々が個人、家族、グループとして最大限に健康を達成するための効果的な地域ケアシステムの構築と評価、在宅看護支援及び介護者支援、家族支援について探究します。

P.15~

老年看護学

Gerontological Nursing

高齢者を取り巻く急激な環境の変化の中で、高齢者が自分らしい生活の維持やQOL向上を獲得するための援助、高齢者の個性を尊重し、自律に向けたセルフケア及び家族参加を含めた援助方法を探求します。さらに、ライフサイクルにおける高齢期や高齢者を特徴づける現象や障がいに視点をおき、加齢現象、社会的背景、倫理的側面を考慮した看護実践を研究します。

P.18~

母子看護学

Maternal and Child Health Nursing

母子を取り巻く健康問題、母子の心身の健全な育成、周産期における母子の看護支援、助産師活動とケアの質の評価、更年期にある人の健康問題など、母子看護学に関連した研究課題について、女性と家族のライフサイクルの視点で探究します。
また、胎児期からの小児の疾病について医学的側面から教授し、小児期の慢性疾患を有する患者とその家族が直面する医療上の問題を検討、地域保健の視点をも含めた問題解決法について研究します。

P.19~

がん看護

(CNS)

がん看護に関する病態生理、診断、治療の原理と最新情報、がん看護の基盤となる看護理論、看護援助論などの専門的な知識を深め、高度な知識・技術を用いて、がん治療に伴う看護、がん患者の苦痛・苦悩に対する看護、治療後の生活調整支援など、がん患者及び家族のQOLの向上のための看護援助を科学的に探求します。さらに、がん医療を取り巻く健康上の諸問題に関して、看護学の視点から実証的な研究を行います。

災害看護

(CNS)

災害による人々の健康や生活への影響、被災者特性、活動現場特性を踏まえ、各災害サイクルにおける被災者に対する援助方法を探求します。行政・住民組織・他職種・ボランティア等との連携・協働・必要時組織化の重要性を理解し、災害時の人々の生活と健康支援に向けて、社会システムや医療・看護ケア提供体制を検討します。個人・家族・組織・地域における防災・減災に向けた諸活動、人々の危機管理意識を啓発する諸活動について人間科学の視点から探求します。

老年看護

(CNS)

歴史的・社会的存在としての高齢者の理解を深め、老化過程や生活の営みに関連する健康問題に対してサクセスフルエイジングを主要概念とした援助方法や、高齢者の価値観や個性に着目し、高齢者がその人らしく生活するための支援や、認知症高齢者と家族への支援など探究します。高齢者のセルフケア能力の開発に貢献するケア方法、高齢者と家族が有する多様なニーズ、課題への創造的・先駆的に取り組みにむけた実証的な研究を行います。



Talk

修士課程修了生×教員

臨床現場で感じた疑問を学び・掘り下げ・研究する。
学びの前後で自分が変わる。

【教員】波崎 由美子教授 【修士課程修了生】京盛 愛枝さん、内田 一美さん

看護師として臨床の現場でキャリアを積んだ後、
大学院の扉をたたいたお二人の修了生。
指導教員だった波崎教授が進学のきっかけ、
働きながら学ぶ苦労や喜びをお聞きしました。

がんサバイバーの子どもに 何ができるか？

波崎——私の研究室には、臨床経験を経て学びに来られる人が多いですね。私自身も助産師として11年間現場を経験し、その後研究の道に入り、今はこうして教育の場に身を置いているのですが、皆さんとお会いするとき最初にお聞きするのは「現場でどんな疑問を持ったのか？大学院の研究で何を明らかにしたいのか？」ということ。お二人も臨床の日々の中で経験したそれぞれの思いを持って学びに来られましたね。

京盛——私の場合、看護師として産婦人科は10年、小児科は6年、消化器は7年、乳腺外科は2年勤務してきました。小児科病棟勤務の時、がんサバイバーの女兒を受け持つことになったのですが、ある日彼女がふとこんなことをつぶやいたのです。「私、母親になれるかな？」と。思わぬ問いかけに言葉を失った私は、その時はただ曖昧にうなづくことしかできませんでした。この子に看護師として何ができるか。もっと考えたい、学びたいと思い、進学を志しました。30歳代後半のことでした。

移り変わる医療ニーズに 応えるために

内田——私が大学院に進学したのは40歳を超えてからでした。看護師として一般外科、産科病棟などでの勤務を経験後、約10年間、看護専門学校に出向し後進の教育に携わりました。その後看護係長として復職し、現在は看護師長としてマネジメントの仕事をしています。当時日々感じていたのは、助産師のウィメンズヘルスへの取り組みの必要性です。特に産科においてはマタニティケアだけでなく、未婚の母やDVといった問題に対しどう対処していくのが喫緊の課題となっており、その分野の現状を知り、助産師の働き方に対する将来への視野を得るため、研究を通して学びたいと思いました。

波崎——私が専門にしている「母子看護学」では、地域の周産期医療・看護のリーダーとなる人物の育成

を目指し、女性の生涯にわたるライフサイクルすべてに関わる健康支援、健康問題に関する研究を行っています。不妊治療やがん治療後の妊娠・出産、近年では性の多様性などもテーマとするなど、研究対象とする範囲は幅広くなってきています。お二人はそれぞれ、ご自身が入学時に持っていた問題意識を核に研究を進められましたね。

自分の関心事を研究テーマに

京盛——先生の「自分の関心事を研究テーマにしていけばいい」との言葉に支えられ、研究室の仲間と一緒にディスカッションしながらテーマを絞り込んでいきました。

波崎——京盛さんは「AYA世代」を取り上げられましたね。

京盛——はい。がん治療を体験したAYA世代（Adolescent and Young Adult=思春期・若年成人、15歳～39歳までの世代）の小児がん経験者が、ストレスの経験を乗り越え、恋愛・結婚を経て親になっていく過程を、インタビューを通じて明らかにしていこうというものでした。このテーマの背景にあるのは、看護師時代に遭遇したがんサバイバーの少女の言葉でした。

波崎——京盛さんはこの論文を日本生殖看護学会学術集会で発表し、研究優秀賞を受賞されましたね。研究結果に華を添える素晴らしい出来事だと思います。内田さんがテーマにしたのは「ウィメンズヘルスケア」でしたね。内田さんもご自身の関心事に沿ったテーマで研究をなさいました。

内田——研究論文のタイトルは「アドバンス助産師のマタニティケアとウィメンズヘルスケアに対する意識と実践の実態とウィメンズヘルスケア実践に影響する要因」と長いものでした(笑)。医療現場で助産師と接していると、もはや助産師はお産の支援をするだけの職能ではないことが分かっていました。お産という約1年のサポートとなる助産を超え、女性の生涯100年にわたるヘルスケアのサポートに眼差しを広げていく必要性を、研究を通して確信することができたと思います。

働きながら、励まされながら、学ぶ

波崎——仕事を続け働きながらの学びと研究でしたので、とても大変だったと思います。

内田——それはもう…(笑)。けれども私にとってはとても新鮮な毎日でした。というのも私は、医療の道に入ってからずっと日本赤十字社の組織で過ごし、初めて違う環境を経験することになったからです。看護学校の経験はありましたが、学ぶ立場になることも新鮮な経験でした。新しい人との出会いや対話によって、自分自身もそして自分の行動も大きく変わっていったように思えます。この歳になっても変わることができるんだと(笑)、新しい自分を発見した思いです。

京盛——正直言うと、2年間は苦しみの日々でした(笑)。先生や仲間の励ましがあって乗り越えることができました。これに比べたらもう、少々のことなら大丈夫(笑)。そんな自信もつきました。学びや研究の結果もさることながら、自分の中の自尊感情を高めることができたのは、望外の成果だったと思っています。

学ぶことは自分を変えていくこと

波崎——臨床現場の日々の中で「おや？」と漠然と

感じていた疑問や問題を、研究を通してその輪郭をはっきりとさせ、これからの仕事に活かしていく方途を見出してくれたら、指導する者としてこれに勝る喜びはありません。苦勞して2年間頑張り、論文を仕上げていく過程で、皆さんの中できっと何らかの変化が起きたはず。これまでには無かった視点を得られたことと思います。修士課程を修了して看護の現場に戻る人もいれば、教育の場で仕事をしていく人もいらっしゃると思いますが、2年間の学びによって変わったご自身を、それぞれの現場で、よりよい医療の実現に役立ててくださることを願ってやみません。

京盛——自分を支えてくれる職場の同僚や家族のありがたみも実感しています。学んだことを職場でも共有しながら、臨床に活かしていきたいと思っています。

内田——現場の看護管理者として、看護師助産師を指導・育成する確かな視点を得られたと思っています。臨床現場でスタッフが日々遭遇したり感じたりしていることに対し、「それにはこれをもっと調査してみれば？」とか「こういう視点から見てはどうか？」というように整理し方向づけ、活動を促していく力がついたように思えます。学びによって視野が広がり、私自身の行動が変わり、それが職場を変え、ひいては患者さんへの貢献につながっていけばと願っています。

PROFILE | 修了生プロフィール



京盛 愛枝さん

母子看護学領域
平成29年3月修了

福井大学医学部附属病院小児科病棟、消化器病棟などの勤務を経て、消化器と乳腺外科病棟の混合の病棟で勤務。



内田 一美さん

母子看護学領域
平成30年3月修了

福井赤十字病院産科病棟勤務後、福井赤十字看護専門学校で教鞭をとる。レディース病棟(産婦人科・乳腺外科病棟)に復職後、看護師長に就任。現在、脳神経センター看護師長。

基礎看護学

Basic Nursing

教育研究区分紹介

基礎看護学では、看護の対象である人間を総合的に捉えることを基盤として、質的研究、量的研究、実験研究など、様々な手法の研究活動を行っています。また、テーマも、看護過程や看護診断に関する研究、慢性疾患に関する研究、エンドオブライフに関する研究、看護介入の効果の検証、看護管理に関する研究など、多岐にわたったことに焦点を当てています。

長谷川智子 教授

Hasegawa Tomoko

基礎看護学

- ・基礎看護学特論
- ・基礎看護学演習
- ・基礎看護学特別研究

共通科目

- ・看護研究
- ・コンサルテーション論
- ・ヘルスアセスメント

老年看護学

災害看護学

- ・災害看護学特論

研究テーマ

- 「看護診断の正確性に関する研究」
- 「慢性疾患患者のセルフマネジメントに関する研究」
- 「エンドオブライフケアに関する研究」
- 「パートナーシップ・ナースングシステム:PNSに関する研究」

主な業績

- 長谷川智子、他編:一歩先のCOPDケア、医学書院、2016
- 長谷川智子:的確なアセスメントから生み出される正しい看護診断、看護診断 16-20、2016.
- T. Hasegawa, C. Ogasawara, E. Katz: Measuring Diagnostic Competency and the Analysis of Factors Influencing Competency Using Written Case Studies, International Journal of Nursing Terminology and Classification 18(3) 93-102, 2007.
- Ogasawara, C, Hasegawa, T, et al: Nursing Diagnoses and Intervention of Japanese Patients with End-stage Cancer Admitted for Different Care Purposes, International Journal of Nursing Terminology and Classification July-Dec ; 16, 3/4, 54-64, 2005.

Message メッセージ

皆さんは子どもの頃にやった夏休みの一研究で、カエルの卵やメダカの親子の観察やアリの巣作りなどで、不思議だともったりわくわくしたりしたことを思い出してください。大学院では今までの知識や技術、そして経験から生まれる素朴な疑問に対して、その原理や背景、因果関係などをひもといていく過程を学びますが、まさしく夏休みの一研究のような、不思議だと思ったことを明らかにする体験ができます。私達と一緒に「新しい発見」をしてみませんか？

上原佳子 教授

Uehara Yoshiko

基礎看護学

- ・基礎看護学特論
- ・基礎看護学演習
- ・基礎看護学特別研究

がん看護学

- ・がん看護学特論
- ・がん看護学演習

老年看護学

- ・老年看護学演習

共通科目

- ・看護理論
- ・コンサルテーション論
- ・ヘルスアセスメント



Message メッセージ

専門職の技能は知識の応用であり、その技能を維持するためには継続した知識の獲得への努力と、知識に裏付けられた論理的思考力が必要です。また、自分たちが行っている行為の科学的根拠について明らかにしていくことが重要で、そのためには研究的態度と取り組みが不可欠です。看護は実践の学問であると言われており、看護職が専門職としてさらに発展していくためには、臨床現場の最前線で看護実践されている方にぜひ大学院で学んでいただきたいです。

研究テーマ

- タクティールマッサージの効果の検証
- 看護学生への喫煙防止教育および禁煙支援力育成教育の方法の検討

主な業績

- 上原佳子,他(2016) 自閉スペクトラム症児の母親へのタクティールマッサージの効果に関する予備的研究.生理心理学と精神生理学,34(3),213-225.
- 上原佳子,他(2012)看護学生の禁煙支援力尺度の開発.福井大学医学部研究雑誌,13(1-2),19-29.
- 上原佳子,他(2011)看護学生に対する喫煙防止教育の効果—喫煙行動・喫煙に関する知識・喫煙に対する態度への介入—.日本看護医療看護学会雑誌,13(1),31-41.

研究テーマ

- タクティールケアの睡眠に対する効果の検証
- 感情労働と精神的負担感に関する研究

主な業績

- 北野華奈恵,安倍博,上原佳子,礪波利圭,出村佳美,長谷川智子:子どもの睡眠に対するタクティール®ケアの効果の検証.子どものこころと脳の発達,11(1),71-80,2020
- 北野華奈恵,安倍博,上原佳子,礪波利圭,出村佳美,長谷川智子:子どもに対するタクティール®ケアのリラクゼーション効果の検証.福井大学医学部研究雑誌,21,3-14,2020
- 北野華奈恵,長谷川智子,上原佳子,礪波利圭,出村佳美:看護師の感情規則測定尺度の開発.福井大学医学部研究雑誌,18,11-19,2018
- K. Kitano, H. Abe, T. Hasegawa, Y. Uehara, R. Tonami, Y. Demura: The effects of tactile massage on sleep improvement in children. International Nursing Research Conference 2017

北野華奈恵 講師

Kitano Kanae

基礎看護学

- ・基礎看護学特論
- ・基礎看護学演習
- ・基礎看護学特別研究

老年看護学

- ・老年看護学演習I

共通科目

- ・コンサルテーション論
- ・ヘルスアセスメント

Message メッセージ

研究は、臨床での日々の迷いや疑問などに対し解決へと導いてくれます。研究を通して学んだ事は看護に対する姿勢や看護観に影響し、学ぶ前より自信を持って看護に向き合える自分に出会える機会にもなります。私も本学大学院を修了し、研究だけでなく、そこで出会った同僚や先生方と共に学んだ時間は、何ものにも代え難いものになりました。大学院への進学を迷っている方がいましたら、一歩踏み出す勇気を出してみてください。一緒に頑張りましょう。

研究テーマ

- 慢性呼吸器疾患患者の家族への支援に関する研究
- COPDの啓蒙・啓発に関する研究
- 入浴が身体に及ぼす影響に関する研究

主な業績

- 礪波利圭,村松芳幸,小林恵子,他:在宅酸素療法中のCOPD患者家族の思い,日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌,30,2021
- 礪波利圭,長谷川智子,上原佳子,他:医療従事者・非医療従事者のCOPDに対する知識と健康習慣および主観的健康統制感の関連,日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌,26(2),267-272,2016
- R. Tonami, T. Hasegawa, Y. Uehara, et al: Health care worker's knowledge about COPD and health locus of control, European Respiratory Society Annual Congress 2013
- 礪波利圭,長谷川智子,上原佳子,他:異なる水質への入浴による保温効果と気分の違い,日本看護医療学会雑誌,13(2),26-35,2011

礪波利圭 講師

Tonami Rika

Message メッセージ

大学院では、看護中での「なぜ?」という疑問に向き合うことが出来る機会だと思います。その疑問に対して、大学院では多くの先生方から解決するための手がかりを教えてください。もちろん看護の中には、在学中だけでは答えを見つけることはできないことも多くあります。その先の「なぜ?」に対しての答えを見つける手がかりを得るためにも、大学院と一緒に学べたらと思います。



磯見智恵 教授

Isomi Chie

成人看護学

- ・成人看護学特論
- ・成人看護学演習
- ・成人看護学特別研究

災害看護学

- ・災害看護学特論

老年看護学

- ・老年看護学特論

がん看護学

- ・がん看護学特論
- ・がん看護学演習
- ・がん看護学実習
- ・がん看護学課題研究

教育研究区分紹介

【成人看護学】

身体的健康問題をもつ成人期にある人及びその家族を対象とした看護について、発達理論、セルフケア理論、危機理論、ストレス・コーピング理論、対人関係理論などの主要理論を基盤に探求しています。主要課題は、成人期にある人の健康問題と健康管理行動の認識と構造、健康ケアとその効果、慢性的な健康障害における対象の生活の質、手術・救急などのクリティカルな健康障害における対象の特性と援助プロセス及びその効果、ならびに個人及び集団を対象とした看護介入と評価です。

【がん看護専門看護師教育課程】

平成27年度から開講されたこの課程では、がんに関する専門的な知識を深め、エビデンスに基づいた確かな臨床判断を行い、熟練した高度なケア技術とキュアの知識を用いて、がん患者及び家族に対して看護を実践していきます。またあらゆる場面での教育、相談活動、調整や倫理的判断に基づいた行動を身につけていきます。さらにはがん看護に関する専門的知識や技術を深めるための研究を積極的に実践していくことが主要な課題です。

Message メッセージ

2人にひとりが、がんにかかります。がん治療は、ゲノム医療を含め多様・複雑になってきています。がん看護専門看護師としての能力を身につけ、患者さんや家族、集団のQOLの維持・向上に貢献していきましょう。

大学院では自分自身に向き合うところから進化が始まります。辛いこともあるけど、一緒に乗り越える仲間、支えてくれる教職員がいます。一緒に頑張りましょう。

研究テーマ

- 慢性病をもつ人への看護に関する研究
- がんとともに生きる人への看護に関する研究

主な業績

- 宮澤 芽生, 磯見 智恵他(2020):手術を受けた女性大腸がんサバイバーの就労に関連した体験,第50回日本看護学会論文集 慢性期看護,98-101.
- 富永 知恵子, 磯見 智恵他(2020):進行再発がん患者・家族に関わる看護師の困難感の変化,第50回日本看護学会論文集 看護教育,111-114.
- 磯見智恵他(2018):通院がん患者の療養支援における多職種連携に関する研究,日本がん看護学会32Sup,250.
- 磯見智恵他:高齢がん患者が通院治療を継続するにあたっての負担・不安と工夫,日本がん看護学会30sup,274,2016.
- 内海香子, 磯見智恵他:糖尿病をもつ利用者・家族のセルフケアを支援する訪問看護師を対象とした継続教育プログラムの評価,The Kitakanto Medical Journal,66(2),139-148,2016.

研究テーマ

- がん看護に関するもの。特にがんサバイバーやその家族に関する研究。がん患者会(self help group、ピアサポート)に関する研究。終末期看護に関する研究等
- 学生の成長過程に関する研究

主な業績

- 山口洋子 繁田里美:「就労継続支援B型施設に長期間通所する精神障害者の通所開始から継続に至るプロセス」日本看護研究学会雑誌 vol40 No3 p152,2017.
- 繁田里美 他:「地域で生活するがん患者・家族の為に患者会・サロンのネットワークの構築」文部科学省「地(知)の拠点整備事業」報告書2015.2発行
- 繁田里美 他:「A県内のがん患者会・サロンのネットワーク構築に向けての取り組み 第1報(活動報告)」～ 定期的な代表者会の開催 ～ .日本がん看護学会誌,vol31,p 277,2017.
- 西口遥 繁田里美 川口めぐみ:「中年期にある終末期がん患者をもつ配偶者の在宅移行の決定に関する研究」,日本がん看護学会誌,vol33,p 153 ,2018.
- 中野妃佐恵 繁田里美 磯見智恵:「若年性乳がん患者における術後内分泌療法中のボディイメージの変化が思考や行動に及ぼす影響」第34回日本がん看護学会学術集会プログラム集p75 Web版(電子抄録)2020.1



Message メッセージ

修士課程で学修を深めたい、より、高度ながん看護の専門性を身につけたい、研究の仕方を学びたいと考えていらっしゃる皆さん。学びの途中は悶々とし苦しい時期もあると思います。しかし、それらの積み重ねが学ぶことであり、自己成長につながっていきます。私たちと一緒に頑張ってください。修了時に看護者として人としての大きく成長した自分自身を実感してください。

繁田里美 准教授

Shigeta Satomi

成人看護学

- ・成人看護学特論
- ・成人看護学演習
- ・成人看護学特別研究

がん看護学

- ・がん看護学特論
- ・がん看護学演習

- ・がん看護学実習
- ・がん看護学課題研究

災害看護学

- ・災害看護学演習
- ・災害看護学実習

共通科目

- ・看護教育論



Message メッセージ

おもに成人看護学を担当しており、これまでに院生と行った研究は周手術期に関するテーマなどがあります。私自身は、身体障害をもつ人の暮らしを支えるための看護やケアリングなどにも興味があり、それらの研究に取り組んでいます。大学院では、授業や研究を通して、改めて看護とは何かを考える貴重な機会になると思います。一緒によりよい看護を探究していきましょう。

研究テーマ

- 下肢や体幹の支持性が低下した患者の自立を促す車椅子移乗動作
- 実習にケアリング教育を導入するための基礎的研究—学生教員間の相互作用に着目して—

主な業績

- 月田佳寿美,鈴木美栄子,酒井明子,松葉ひとみ,寺下智章:下肢や体幹の支持性が低下した患者の自立を促す車椅子移乗動作,福井大学医学部研究雑誌,12(1-2),15-23, 2011.12
- 月田佳寿美,磯見智恵,三嶋一輝:血液透析患者の要介護の実態と福祉サービス利用の課題,福井大学医学部研究雑誌,12(1-2),25-33,2011.12
- 月田佳寿美,清水誉子,酒井明子,繁田里美,酒井彰久:臨地実習で看護教員が学生に対しておこなうケアリング,福井大学医学部研究雑誌,16(1),21-35,2016.

月田佳寿美 准教授

Tsukida Kazumi

成人看護学

- ・成人看護学特論
- ・成人看護学演習
- ・成人看護学特別研究

がん看護学

- ・がん看護学特論II

老年看護学

- ・老年看護学特論I

災害看護学

- ・災害看護学演習
- ・災害看護学実習

共通科目

- ・看護理論

災害看護学

Disaster Nursing



酒井明子 教授

Sakai Akiko

災害看護学

- ・災害看護学特論
- ・災害看護学演習
- ・災害看護学実習
- ・災害看護学特別研究
- ・災害看護学課題研究

成人看護学

- ・成人看護学特別研究

がん看護学

- ・がん看護学特論
- ・がん看護学実習

Message メッセージ

災害というものには個性があります。被災者の人たちも、それぞれに抱えている問題が違って個性があります。一律にマニュアルで対応できるようなものではありません。したがって、災害看護では人間が生きる物語の普遍性を重要視した、実践・教育・研究が大切になります。

2011年3月11日に東日本大震災が発生しました。地震が起きて津波が押し寄せ、原発が制御を失い、“命”が危機に直面する場面が立て続けに起こりました。情報が途絶し、被災地に残された人たちは自力で自分たちを救うしかありませんでした。本領域では、人々のいのちと生活を守るため、災害に強い人材育成を行い、いろいろな“つながり”を大切にしていきます。



2010年に発生したハイチ大地震で医療活動を実施した時の被災した子どもたちです。ハイチの地震は、貧しさをさらに増強させ、生活は限界状態でしたが、子どもたちの笑顔からは力強さを感じました。

教育研究区分紹介

災害看護学は平成25年度に開設されました。学部では、災害看護学講義を開講し、多彩な講師(現場で活躍している看護師および他職種)のもと、臨場感溢れる授業を行っています。また、大学院医学系研究科修士課程看護学専攻の災害看護学では、平成26年度に災害看護専門看護師課程が設置されました。優れた知識・技術を有し、倫理的・研究的な視点を持ち現場で活躍できる実践家を育成します。本領域では実際に被災地に赴き、被災地での活動を積極的に行い、災害看護の知識の蓄積に貢献する研究に取り組み学会発表も積極的に実施しています。

研究テーマ

- <「時間論」からみた災害支援における心理学的研究>
災害初期から復旧復興期の災害支援活動のプロセスにおいて、被災者、被災した支援者および外部支援者が何を感じ、何を体験しているか、時間(物理学的時間と自己の時間)が認識主体にあらわれてくることに焦点をあてて忠実に記述し、災害支援における心理的意味と内容を明らかにする研究を行っています。
- <災害時の心身の健康問題に関する研究>
地震・水害・噴火・雪害などの自然災害に関連したこころと身体健康問題に関する研究を行っています。

主な業績

- 酒井明子監修:ナーシンググラフィカ災害看護,メディカ出版,2021
- 小原真理子,酒井明子監修:災害看護〜心得ておきたい基本的な知識,南山堂,2019
- 酒井明子監修:災害看護〜看護の理論的知識を実践につなげる~,南江堂,2021
- 柳田邦男,酒井明子:災害看護の本質,日本看護協会出版会,2018

研究テーマ

- 慢性疾患を持つ被災者のサポート体制の構築に関する研究
慢性疾患を持つ被災者をサポートするために、福祉避難所や地域住民、保健師等の専門職が効果的に連携するための体制を検討しています。

主な業績

- 大学立地地域における災害時の学生による応援体制整備に向けた活動
清水誉子、酒井彰久、酒井明子、月田佳寿美、日本災害看護学会誌20(1)、175、2018
- 平成30年2月に発生した豪雪による福井県内の調査報告
酒井彰久、清水誉子、酒井明子、日本災害看護学会誌20(3)、50-59、2018
- 慢性疾患を持つ老年期の被災者の健康管理～被災後の生活に焦点をあてて～
清水誉子、酒井明子、繁田里美、麻生佳愛、日本災害看護学会誌16(1)、186、2014



Message メッセージ

私も本学大学院を修了しています。大学院時代の同級生とは今でも連絡を取り合い、学び合うことができます。大学院は今まで自分が行ってきた看護や自分自身などいろいろなもの向き合う時期でもあり、大変なこともありましたが、貴重な仲間や先生方との出会いの場でもありました。災害現場でもたくさんの方々との出会いがありました。そのたくさんの出会いが、いろいろな気づきを促してくれたと思っています。
私は災害看護学の経験がまだまだ浅く、日々勉強の身です。一緒に災害看護を学んでいきましょう。

清水誉子 講師

Shimizu Takako

災害看護学

- ・災害看護学特論
- ・災害看護学演習
- ・災害看護学実習
- ・災害看護学課題研究
- ・災害看護学特別研究

Books! 先生がすすめる本

医学書院

現象学でよみとく
専門看護師の
コンピテンシー



CNSを目指す人への
格好の参考書

成人看護学 磯見智恵 教授

専門看護師（CNS）研究会で各領域のCNSが事例を報告し、他のCNSらとの討論を通して事例の意味を深めた結果が9事例（6領域）紹介されています。現象学者である村上氏が、事例報告・討論後に各CNSにインタビューを行い、現象学的な質的研究により、そこから見えてくるCNSの行動や言葉を抽出し、「看護師の目線で見た世界」をCNSのコンピテンシーとして示しています。CNSを目指す人にはぜひ読んで頂きたいと思います。

また、『専門看護師の思考と実践』（井部俊子・大生定義監修、医学書院、2015）も合わせて、読んでください。

医学書院

中動態の世界
意志と責任の考古学



ケア論に新たな
地平を切り開く
画期的論考

災害看護学 酒井明子 教授

災害多発時代を迎え、最近の被災地状況について思うことは、能動態—受動態（「する—される」関係）の二項関係が強いことです。能動側には意志と責任が帰属・追求され、受動側にはそれを受け止めることが求められます。自ずと効率的・管理的になる構図です。このため、個々の被災者のニーズの把握・対応よりも、ニーズの調整を効率的に処理することが優先されます。支援者は、統括者の指示には対応していますが、個々の被災者はおさざりになっている姿です。最近、能動態—受動態（「する—される」関係）以外の中動態の議論が注目されています。強制ではないが自発的でもなく、自発的ではないが同意している。そのような日常にあふれている矛盾を中動態の世界から眺めてみよう。



長谷川美香 教授

Hasegawa Mika

地域看護学

- ・地域看護学特論
- ・地域看護学演習
- ・地域看護学特別研究

がん看護学

- ・がん看護学特論

老年看護学

- ・老年看護学特論

災害看護学

- ・災害看護学特論

共通科目

- ・看護倫理

Message メッセージ

地域看護学では、地域で生活している人々と家族、組織、集団そして地域全体の健康課題解決のため、多様な研究テーマで研究に取り組んでいます。看護実践における自らの疑問を探索し、課題解決に向け実践し、将来、福井県の看護を牽引できる人材を育成しています。より質の高い看護を実践したいと考えている皆さん、大学院で勉強してみませんか。これまでの大学院生の研究テーマは、子どもから高齢者まで、あらゆる健康レベルの方を対象に、活動内容も公衆衛生看護、在宅看護、継続看護、入院中の看護等、非常に幅広いものです。気軽にお問い合わせください。自分の力で論文をまとめるプロセスは、研究能力の獲得はもちろん、日々の看護実践に必ず役立つものです。一緒に看護を極めましょう!



文献のクリティーク、研究計画立案、データ分析など、学生と教員のディスカッションを通し修士論文作成に向け取り組んでいます。社会人学生は、仕事から学業に頭を切り替えながら熱心に取り組んでいます。議論が白熱することしばしばです。

教育研究区分紹介

公衆衛生看護、在宅看護、保健指導に関する研究を主とし、地域で生活する人々及び、健康障害を持つ人々の心身の健康の維持・向上への支援に貢献できる看護学研究を重点的に行います。具体的には、地域に在住する乳幼児から高齢者までの様々なライフステージ、健康レベルにある人びとを対象に、ヘルスプロモーション、疾病予防、疾病の回復促進、リハビリテーション、地域ケアシステムの構築、家族内の虐待・暴力の予防、在宅看護支援及び介護者支援、QOL向上のための看護実践等を探求しています。

研究テーマ

- 地域でのDV予防、DV被害者へのより良い支援をめざし、高校生・大学生を対象としたデートDV予防教育プログラムの開発、妊婦のDV予防と支援、DV被害者支援に不可欠な多職種連携に焦点を当て、支援担当者の連携実践能力を高める教育プログラムの開発等に取り組んでいます。また、多職種連携実践能力を有する在宅医療職業人育成のため、多職種連携教育、在宅医療専門職業人育成モデルの構築に関する研究も行っています。

主な業績

- 障がい児をもつ母親の養育態度への影響要因、関睦美、長谷川美香、出口洋二、家族看護学研究、23(2)、128-139,2018
- 大学生の身体的・心理的デートDV (domestic violence) の認識、長谷川美香、夏梅るい子、日本看護協会出版会、111-114,2019
- Improvement of Water Quality using Triangle Solar Still, Amir Asyraf, Hiroaki Terasaki, Kenji Furuichi, Shunya Kato, Tomohiro Umemura, Teruyuki Fukuhara, Mika Hasegawa, Yukinori Kusaka, 2020



米澤洋美 准教授

Yonezawa Hiromi

地域看護学

- ・地域看護学特論
- ・地域看護学演習
- ・地域看護学特別研究

共通科目

- ・看護研究

研究テーマ

- 退職後の団塊世代男性を対象とした介護予防の担い手養成プログラムの開発
- 住民からの不当暴力・クレームに対峙する地域保健従事者の組織的安全管理体制の構築

主な業績

- 地方農村部シルバー人材センター会員の抱える現在と将来の心配事：性・年代別の比較2020
- 地方農村部シルバー人材センター会員の就業の意義2018
- 全国のシルバー人材センター会員の健康管理に関する実態調査 2017
- 住民からの暴力防止に向けた保健従事者の安全管理体制の取組みの実際 2015
- Awareness of community involvement of male baby boomers living in the local cities of Japan immediately after their retirement 2 2014

Message メッセージ

日ごろのお仕事の中にご研究のテーマがあちこちに潜んでいると思います。モヤモヤをワクワクに、これまで特に考えずに通り過ぎてきた景色が一変するような経験があるかもしれません。論理立てて考えていくことはその後の働き方を変えていく気がします。壁に突き当たったり悩んだり迷ったりするときは、ご自身でも気づかないかも知れないけど、ステップアップの時期を迎えられるように思います。ぜひ一緒にそのような体験をしませんか。お待ちしております。



北出順子 准教授

Kitade Junko

地域看護学

- ・地域看護学特論

研究テーマ

- 地域住民の健康行動に関する研究
- 明治期における死亡統計の分析

主な業績

- 国民健康保険法成立時の地域住民の暮らしと国保保健婦の役割,2020
- 美浜町における地域住民の過剰塩分摂取に関連する要因,2018
- データヘルズ計画の時代～あらためてデータを保健事業に活かす,2015
- 特定健診・保健指導第1期を終えて～医療分析を発端としたポピュレーションアプローチの展開～, 2014
- 地域住民の塩分摂取の実態, 2013
- Changes During Six Months of the Estimated Urinary Sodium and Dietary Habits of Participants in Salt Reduction Classes , 2011

Message メッセージ

私は、本学大学院の修士生です。入学のきっかけは、当時の教授が何度も何度も誘って下さったこと。行政保健師だったので、講義開始までに大学へ駆け込み、夜や休日は課題に追われ、という日々を送りました。働きながら学ぶということは本当に大変です。振り返れば、大学院の2年間はただ夢中でした。はじめは時間や課題に追われることばかりで…と思っていました。次第に学ぶ楽しさを得たり、自分の小さな研究が形になって世の中に出ることにワクワクするようになっていきました。春からの2年間を、自分が変われる2年間に。大学院でお待ちしております。



Message メッセージ

私も本学大学院の修了生です。大学院では、起こっている事象を論理的に理解し、科学的根拠に基づいた看護を実施することについて学びました。時には、自分の知識不足を目の当たりにすることもありましたが、その壁を乗り越えることが自分を大きく成長させてくれたと実感しています。

皆さんも看護者としての新たな自分を発見し、日々のお仕事を少し変化させてみませんか？私もまだまだ勉強の身です。是非、一緒に学びを深めましょう。

研究テーマ

- 統合失調症患者を介護している家族への看護支援に関する研究
- 高齢地域住民の認知機能と生活習慣に関する研究

主な業績

- 川口めぐみ,北岡和代,川村みどり他:統合失調症をもつ人の高齢期にある親の行動～親亡き後の子の将来のための準備のプロセス～,精神障害とリハビリテーション,25(1),2021.
- 川口めぐみ,長谷川美香,平井孝治: Partnership Nursing System®を採用する精神科病棟に勤務する看護師のやりがい,日本看護医療学会雑誌,21(2),13-21,2019.
- 川口めぐみ,東間正人,田中悠二他:地域で生活する高齢者の家族レジリエンス,福井大学医学研究雑誌,18,21-31,2018.
- Megumi Kawaguchi,Kazuyo Kitaoka:Research on the process by which parents of children with schizophrenia associate with their experience: From onset to continuing life in community,Journal of Wellness and Health Care,41(2)57-67,2017.

川口めぐみ 講師

Kawaguchi Megumi

地域看護学

- ・地域看護学特論
- ・地域看護学演習
- ・地域看護学特別研究

老年看護学

- ・老年看護学特別研究

Books! 先生がすすめる本

新潮文庫

雪の花



本学医学部の
理念の神髄を知る

基礎看護学 長谷川智子 教授

福井大学医学部の理念は“愛と医術で人と社会を健やかに”です。愛とは、“真理を探求する知への愛”そして“人命を尊重し人間に共感する人への愛”です。この理念は、福井藩蘭方医であった笠原良策（白翁）から見いだされました。雪の花は良策が、幕末、多くの死者を出した天然痘を食い止めるために自らの命までも賭して種痘を広めたお話です。良策は福井が天然痘で大流行する中、最初は一般人と同じように死体や患者から逃げ回り、治療は医学ではなく神や仏にすがらざるほかないと思っていました。また、漢医学と古医学を学んだ良策は、新しく入ってきた西洋医学について蔑みの気持ちすら抱いていました。そんな良策が自分の考えや行動をみるみる変化させ、種痘を広めるという偉業を成し遂げました。色々なことを学び、自分の新たな目を開かせることがどんなに大切なことなのか分かる本です。本学医学部の理念の神髄を、是非読んでみてください。

文春文庫

サイロ・エフェクト 高度専門化社会の罠



英エコノミスト誌はじめ
米英有力ビジネス紙で
話題!

地域看護学 長谷川美香 教授

「なぜ、私たちは自分たちが何も見えていないことに気がつかないのでしょうか？」その疑問への答えを著者は探しています。高度専門化社会がもたらした、功績は計り知れないです。しかし、その罪過にも目を向けるべきだと考えます。私たちは、誰もがちっぽげな専門家集団、社会集団、チーム、あるいは同じ知識を信奉するグループ、いわゆる「サイロ（たこつぼ）」の中に閉じ込められています。看護職は職種、病院等の閉ざされたサイロにとらわれることなく、サイロの境界を柔軟にし、多職種・多機関と連携し看護を実践することが必要です。改めて多職種連携の意義を再確認できる本です。興味のある方は、ぜひ読んでみてください。

東京図書

SPSSで学ぶ 医療系データ解析 第2版



バランスのとれた
医療統計入門
SPSSを使った
医療系データ解析の定本

基礎看護学 上原佳子 教授

研究において、統計学的分析を苦手としている人は多いのではないのでしょうか？実は私もそうでした。私の経験から、統計学的分析はとにかく自分でやってみることが理解への一番の近道だと思います。基本的な統計学の知識に関しては専門書で学習していただくこととして、この本は、実際に統計学的分析を行うとき、必要最低限理解しておかなければいけない統計に関する知識と、実際にSPSSを使って行う場合の分析手順が詳しく解説されているので、とても重宝する本です。自分が研究指導する大学院生や学外での看護研究指導でもお勧めしています。私も自分の研究で統計学分析を行う時にはいつも傍らに置き、活用しています。



四谷 淳子 教授

Yotsuya Junko

共通科目

- ・看護研究
- ・臨床薬理学

老年看護学

- ・老年看護学特論
- ・老年看護学演習
- ・老年看護学特別研究
- ・老年看護学特論I・II・III・IV
- ・老年看護学演習I・II
- ・老年看護学実習I・II・III
- ・老年看護学課題研究

Message メッセージ

人生100年時代、誰もが健やかでその人らしい生活を実現するために貢献できることを目指し、フレイルや老年症候群などの予測・予防のための新たな老年看護学創出に向けた研究を行っています。新たな知見を導き出すことで、臨床現場へフィードバックしていくことができ、最終的には高齢者の「健幸」につながります。研究をととして論理的思考やプレゼンテーション力が身につきます。ぜひ一緒に学び老年看護学を極めましょう!

教育研究区分紹介

高齢者の看護の提供の場は、病院・施設・在宅と様々です。高齢者がその人らしく生活するために、潜在能力を活かしながら生活の質を向上することを目指した研究を促進しています。また、老年看護の各理論を理解し、高齢者の自律支援や効果的なセルフケア、ならびにその家族への有用で創造的な看護について探求します。当研究室では、高齢者のwell-being向上のために、臨床現場のニーズから、大学の専門領域(医学、看護、工学)や企業がもつ知識・技術を統合し、新しい老年看護技術の開発を目指しています。

CNSコースでは、複雑な健康問題をもつ高齢者とその家族のQOLを向上させるために高度な専門的知識・技術を駆使し、創造的・先駆的な取り組みができる実践・研究能力を育成しています。本学では、現代社会に応じた高齢者看護として、急性期看護と認知症看護に特化したカリキュラムを組んでいます。

研究テーマ

- 体圧分散寝具を評価する寝たきり高齢者臀部モデルの開発と妥当性の検証
- ベッドメイキングの違いがエアマットレスの圧再分配機能に及ぼす影響
- 褥瘡およびスキンテア予防のための寝具の開発
- 高齢者の便秘に対する超音波画像による大腸内部の画像化と定量的評価
- 高齢者の排泄予測システムの開発

主な業績

- 四谷淳子, 橋本美香, 西山淳子:ウレタンフォームマットレスのへたりによる褥瘡発生への影響, 日本創傷・オストミー・失禁ケア研究学会誌, 24(3), 328-333, 2020.
- Wakabayashi M, Sasaki M, Nakayama Y, Aoki M, Yotsuya J. Evaluation of visceral fat using ultrasonography to predict obesity risk in young people, Structure and Function, 19(1), 2-9, 2020.
- Yabunaka K, Matsuo (Yotsuya) J, Takii M, Hara A, Nakagami G, Gotanda T, Nishimura G, Sanada H. Sonographic visualization of fecal loading in adults: Comparison with computed tomography. The Journal of Diagnostic Medical Sonography. 31: 86-92. 2015.
- 松尾(四谷)淳子, 福田守良, 井内映美, 他:ベッドメイキングの違いがエアマットレスの圧再分配機能に及ぼす影響, 日本創傷・オストミー・失禁ケア研究学会誌, 17(1), 33-39, 2013. (学術論文最優秀論文賞)
- Matsuo (Yotsuya) J, Sugama J., Sanada H et al: Development and validity of a new model for assessing pressure redistribution properties of support surface Journal of Tissue Viability, 20:52-66, 2011.

教育研究区分紹介

現在の母子を取り巻く社会の動向を踏まえ、胎児期から小児期、思春期、成熟期、更年期と様々なライフステージにおける健康問題、課題を中心に、母子の心身の健全な育成、周産期の母子看護支援、助産活動やケアの質の評価について、女性と家族の視点で検討します。また、小児の疾病について地域母子保健の側面から学習し、小児期発達障害、小児悪性腫瘍、慢性疾患を有する子供とその家族が直面する問題について検討し、地域保健の視点を含めた問題解決法を探りつつ、研究のプロセスを実施します。これらの研究プロセスから母子看護、助産の専門職としての自己の再構築を支援します。

母子看護学

Maternal and Child Health Nursing

波崎由美子 教授

Namizaki Yumiko

母子看護学

- ・ 母子看護学特論
- ・ 母子看護学演習
- ・ 母子看護学特別研究

研究テーマ

- 女性のがんと妊孕性に関する看護支援
- ライフステージ各期におけるヘルスプロモーションの視点からの健康支援、看護に関連した研究
特に、乳がんや子宮頸部がん検診受診行動促進に関する研究、家庭における母親と娘へのがん検診教育に関する研究に取り組んできました。

主な業績

- 網谷 奈央, 波崎 由美子, 上澤 悦子: 子宮頸がん検診の準備行動を促すための健康教育プログラムの検討. 福井大学医学部研究雑誌, 20(1), 29-40, 2020.
- 波崎由美子: 付章 周産期にある母子の看護の事例, 渡邊浩子他編, 新体系看護学全書 母性看護学② マタニティサイクルにおける母子の健康と看護. メヂカルフレンド社, 252-274, 2019.
- 京盛愛枝, 波崎由美子, 上澤悦子: AYA世代にある小児がん経験者のがん治療体験による恋愛や結婚, 親になることへの過程—マステリー理論による半構造化面接を実施して—日本生殖看護学会誌, 15(1), 27-35, 2018.
- Yumiko Namizaki, et al. Decision Making and Support for Fertility Preservation in Young Women with Breast Cancer. 31th ICM Triennial Congress. 2017.

Message メッセージ

私自身も本学大学院で学びました。大学院では、臨床や教育現場での経験を通して抱いたある疑問について徹底して考え、仲間や教員と議論して、疑問に対する答えを研究によって見つけ出す過程を学びます。その道のりは簡単ではありませんが、2年間の学びを得て看護を多角的、客観的、論理的にみる視点に身につき、大きな成長を実感しました。
女性、母子とその家族への看護・助産をさらに良質のものにしていくために、また、自己のキャリアアップのために一緒に疑問を探求していきましょう。



嶋 雅代 准教授

Shima Masayo

母子看護学

- ・母子看護学特論
- ・母子看護学演習
- ・母子看護学特別演習

研究テーマ

- 母親の感情が母乳育児の意思に及ぼす影響と母乳育児継続支援の検討
- 生殖補助医療後に妊娠・出産した母親の母乳育児に焦点を当てた母親役割獲得支援の検討

主な業績

- 日本における母子間の愛着の概念分析 福井大学医学部研究雑誌,19,2019
- 生殖補助医療(ART)後に妊娠・出産した母親における母乳育児継続に向けた課題と支援 福井大学医学部研究雑誌,18,2018
- Influence of 'Emotions of preconception, prenatal and breastfeeding for neonatal' on breastfeeding intention in mothers who conceived via assisted reproductive technology Journal of Wellness and Health Care,41(1),2017
- Relevance of reason for breastfeeding to breastfeeding intention in mothers one month after childbirth: analysis using text mining 39(2),2016



Message メッセージ

臨床現場で日常的に母子に関わる中で感じる疑問や、何となく効果があると感じて実施しているケアはありませんか?今まで、「何となく」行っていたことが、実は大きな意味や価値のあることかもしれません。どんなに小さな疑問やケアでも、研究によってその根拠が明らかになる過程はとても楽しく、自分の母子看護や助産にとって大きな自信となります。ぜひ、研究の楽しさを皆さんと共有できればと思います。

Books! 先生がすすめる本

ソシム

リサーチの技法



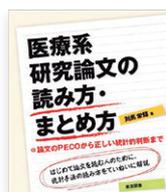
大学、企業、研究機関などでリサーチする人必読の名著

老年看護学 四谷淳子 教授

研究は容易なことではありません。いくつもの障壁を乗り越えながらも最後までやり通すことで、論理性や科学性に富む文章表現ができるようになります。また、論文として研究成果を世の中に公表することで社会(看護学・看護実践)に貢献できるとともに、喜びにもなります。本書は研究をするすべての人に向けて書かれた名著で、原本 The craft of Research を翻訳されたものです。リサーチした内容が第三者(読み手)にいか理解してもらえるか、リサーチの始め方から、リサーチの結果として論文を書く方法について、その工夫やノウハウが説明されています。当たり前だけど忘れがちなことを気づかせてくれます。研究やレポート作成にも参考になりますので、ぜひ一読ください。

東京図書

医療系研究論文の読み方・まとめ方



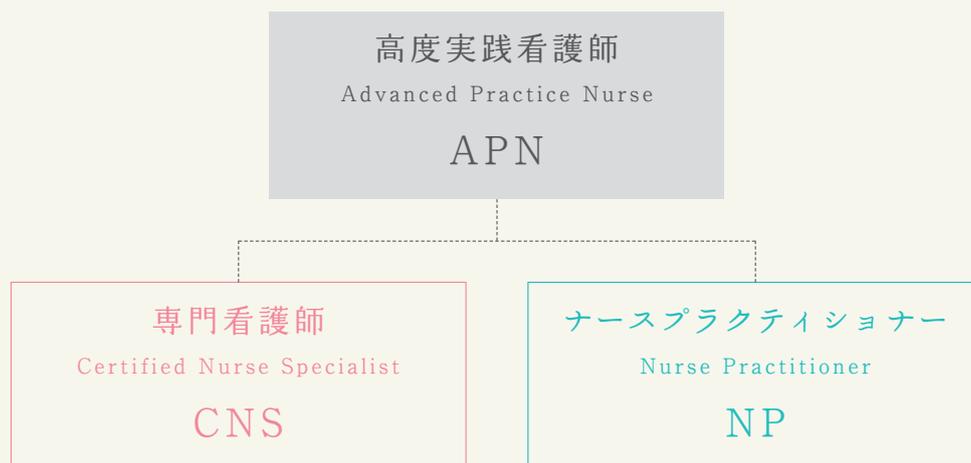
4つのポイント"PECO"で論文を把握する

母子看護学 波崎由美子 教授

パンフレットを手にとって下さった皆さんは、もしかして、日々の看護で何か疑問にぶち当たっていませんか?その疑問を解決するべく、大学院進学に関心をお持ちなのではないですか。教科書に書かれている知識は研究成果が蓄積されたものであり、根拠ある看護実践に欠かせないのが研究です。日頃の疑問を解決するには研究論文を読む、そして、新たな知見を臨床で活用するためには、論文に書かれていることを正しく理解する力が必要です。この本は、量的な研究論文を読む際の統計学的な手法や結果をどう理解するかに重点をおいた解説書です。研究論文を正しく理解し、実践に活用すること、また、皆さんが論文を書くときにきっと役立つ1冊です。

日本における高度実践看護師教育

日本の高度実践看護師 Advanced Practice Nurse (APN) は、専門看護師 Certified Nurse Specialist (CNS) とナースプラクティショナー Nurse Practitioner (NP) の2種類で構成されています。目的は、グローバル水準の看護の高度専門化と役割拡大を通して、国民の医療ニーズに対応し、医療の質の向上および国民の健康の増進に貢献することです。



高度実践看護師の種類

福井大学医学系研究科修士課程では災害看護専門看護師教育課程、がん看護専門看護師教育課程、老年看護専門看護師教育課程を設置し、高度実践看護師の育成に努めております。

高度実践看護師になるためには・・・

高度実践看護師になるためには、以下の3つを全て満たしている必要があります。

- 高度実践看護師教育課程をもつ大学院修士課程で、必要な単位を習得して修了していること。
 - ※専門看護師には、現在、「がん看護」「精神看護」「地域看護」「老年看護」「小児看護」「母性看護」「慢性看護」「クリティカルケア看護」「家族看護」「感染看護」「在宅看護」「遺伝看護」「災害看護」「放射線看護」の14分野の教育課程があります。
 - ※ナースプラクティショナーには、現在、「プライマリケア看護」の教育課程があります。
- 看護実務経験が5年以上あり、そのうちの3年以上は専門とする特定分野の経験であること。
- 専門看護師は、日本看護協会で行う、認定試験に合格すること。
- ナースプラクティショナーは、本協議会のJANPUナースプラクティショナー (JANPU-NP) 資格認定委員会が行う認定試験に合格すること。
CNSもNPも、認定後も5年ごとに更新審査を受ける必要があります。

高度実践看護師の仕事は・・・

高度実践看護師は、質の高い看護ケアを提供するために次のような活動をしています。

- ・実践 健康問題を持つ方やご家族などに、直接、専門的で質の高い看護ケアを提供すること
- ・教育 看護スタッフや他の医療職者など、ケアに関わる人への教育的な役割を果たすこと
- ・相談 ご家族や看護スタッフなど、ケアに関わる人の相談にのること
- ・調整 必要なケアがスムーズに提供されるように、ケアにかかわる人々の間の調整を図ること
- ・研究 専門知識・技術の向上や開発のために研究活動を行うこと
- ・倫理調整 ケアにかかわる倫理的な問題について、関係者間での話し合いが持てるように調整すること



省察を積み重ね、看護の意義 や新規課題を発見できる場所

福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター

小林 美貴さん

Kobayashi Miki

看護師として活動する中で、研究能力や教育的指導力を身につけたいと考え、大学院へ進学しました。未就学児の子育て中でもあったため、長期履修制度を利用しました。大学院では、たくさんのプレゼンテーションや討議の機会がありました。プレゼンテーションの準備をする中で、自己の考えや看護観と幾度も向き合いました。また、討議では先生や同級生から多角的なフィードバックをもらい、そのフィードバックをもとに更に思考を深めるといったことを繰り返しました。このような機会を通して、看護の知識や技術の深い学び直しと、研究能力や教育的指導力の向上が図れたと考えます。その結果、看護へのやりがいや意義を深め、新規の課題発見にもつながりました。

私の大学院生活

1年目															
3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4				
					長期履修制度を利用したので、子育てと両立しながらの講義が受講可能だった						仕事の都合で、ほとんど講義を受講できません				
3年目						2年目									
3	2	1	12	11	10~9	8	7	6	5	4	3~1	12	11	10	9~4
	論文修正	研究報告会	論文作成	調査用紙回収	調査用紙配布		検索・分析方法の学習など	論文作成準備(再度の文献)	倫理審査委員会に提出	中間研究報告会		研究計画書作成開始	文献検索	ゼミ開始	



長期履修制度を利用して 学業と仕事と家事の 三立可能に

勝山市健康長寿課

櫻井 陽子さん

Sakurai Yoko

保健師業務について今までと違った視点で考えることができないかという思いと、私には今しか大学院に行ける機会がないと思い進学を決めました。大学院在学中には子供の結婚、孫の誕生、父の看取りを経験し、公私ともに忙しく学業を続けられるだろうかと迷った時期もありました。しかし、長期履修制度と先生方の指導のおかげで卒業することができました。大学院では、研究方法はもちろんのこと人材育成の視点についても学ぶことができました。さらに、仲間と一緒に切磋琢磨することで、自ら学ぶことの楽しさと大切さを再認識しました。大学院で学んだことを活かし、職場の人材育成に役立てていきたいです。また、大学院で学ぶ楽しさを伝えていけたらいいなと思います。

私の大学院生活

1年目

3	2	1	12	11	10	8	6~7	5	4
	大雪で災害救助法が適用となる			研究テーマの検討	後期授業開始 ゼミ開始	夏休み 特別講義受講のため 休暇をとり参加する		講義に間に合うように 仕事終了後は、 すぐに大学に向かう 日々。	入学式・ 前期授業開始 大学生と一緒に式に 参加し新鮮な気持ち でした

3年目

9	8	7	6	5~4	3	2	1	12	11	10	9~8	7	6	5	4
学位記授与式		最終試験	修士論文公開発表会	休学			アンケートの分析 及び修士論文作成		アンケートの分析	アンケート用紙の回収 終了			倫理審査委員会 アンケート実施	倫理審査委員会に 資料提出	

2年目

4~3	2	1~7	6	5	4
	論理審査会提出資料 作成開始		ゼミでアンケート内容等の 検討及び文献レビュー	中間研究報告会	研究計画書作成のため 奮闘する

目的

福井大学大学院医学系研究科に附属する地域医療高度化教育研究センター看護キャリアアップ部門では、変動する社会環境の中で高度専門化する医療・看護の社会的ニーズに応えるべく、看護基礎教育を修了した看護師のキャリアアップ支援活動を行っています。当部門は、各医療機関で就業しながら学ぶ、また一旦離職した潜在看護師が最新の看護ケアに必要な知識や技術を学ぶ『人材育成担当部門』と、日本看護協会の認定看護師資格取得を目指す『認定看護師育成担当部門』の2部門で構成されています。これらの教育活動の推進を図ること、また本学医学部附属病院とともに多面的な視野で実践研究に取り組むことで、看護学における教育・研究活動を地域社会に還元することを目的としています。

人材育成担当部門

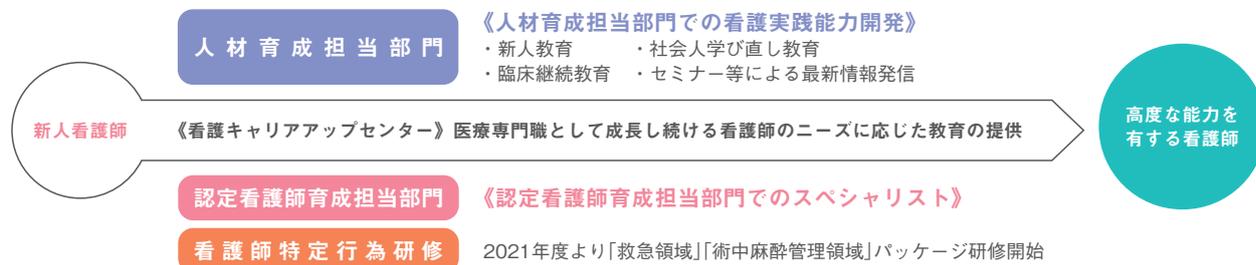
再就職を目指す潜在看護師、看護基礎教育修了後の新人看護師、様々な分野で専門性を高めたい就業看護師に対し、看護実践能力開発講座を開講しています。受講を希望される方はホームページのお申し込みフォームからお申込みください。

ホームページ <http://kango-career.med.u-fukui.ac.jp>

「看護実践能力開発講座」 講座内容一覧 (講座内容は都合により変更する場合があります。) ※2021年度 休講

1. パワーポイントによるプレゼンテーション	9. 慢性呼吸器疾患患者の人生の最終段階におけるケア	17. シミュレーションで見てみよう!手指衛生の必要な場面
2. 細菌について学び直してみませんか?	10. フィジカルアセスメント 苦手意識を克服しよう!これを知っていればラクラク心電図	18. ポイントケア: EBMに基づいた排尿管理
3. 院内感染対策 ～アウトブレイクを防ぐために～	11. 慢性呼吸器疾患患者の在宅における呼吸ケア	19. がん患者におけるリンパ浮腫の知識とケア
4. 慢性呼吸器疾患論～COPDと睡眠障害～	12. 結核症・非結核性抗酸菌症の理解と潜在性結核感染への対応	20. 1000人のがん患者さんから教わった緩和ケア
5. いろいろな せん妄 知っていますか?	13. 脳卒中についておさらいしませんか?	21. 量的看護研究 あなたでもできるアンケート調査とデータの活用法
6. 看護師さんの「困った」や「もやもや」に答える看護倫理	14. 酸素のない生活と酸素療法	22. 発達障害がある方のおつきあい
7. 最新の看護診断と看護過程をおさえれば看護診断なんて恐くない!	15. 胸部(肺)のヘルスアセスメント —聴診のエキスパートになろう—	23. 一高齢者の口腔ケアに向けて—はじめの一步!口の中を観ることから始めよう
8. 慢性呼吸器疾患患者のヘルスアセスメント ～画像検査～	16. いまさら聞けない介護保険のイロハ	24. その人らしく生きるために ～アドバンスケアプランニング～

概要



認定看護師育成担当部門

特定の分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践の出来る認定看護師を育成します。

修了者は日本看護協会の認定審査に合格すると認定看護師として登録され、この分野の実践・指導・相談の3つの役割を果たします。

詳細はホームページ(<http://kango-career.med.u-fukui.ac.jp/nurse/documents>)から募集要項をダウンロードし、確認してください。

看護における高等教育の充実

- ・地域医療をリードする高度実践能力を有する看護スペシャリストの養成

実践・指導・相談の 3つの役割を果たす 認定看護師	実践	特定の分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。
	指導	特定の看護分野において、看護実践を通して看護者に対し指導を行う。
	相談	特定の看護分野において、看護者に対しコンサルテーションを行う。

【呼吸器疾患看護分野_特定行為研修を含む】定員20名

(目的)

1. 呼吸器疾患看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
2. 呼吸器疾患看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
3. 呼吸器疾患看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
4. 呼吸器疾患看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(期待される能力)

1. 呼吸障害に対して高い臨床推論力と病態判断力に基づき、身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな側面的確なアセスメントができる。
2. 呼吸障害に対して高い臨床推論力と病態判断力に基づき、呼吸症状のモニタリングと評価ができる。
3. 呼吸障害のある対象者に対して症状緩和のためのマネジメントを行い、QOLを高めるための療養生活 行動を支援することができる。
4. 呼吸障害のある対象者の身体的・心理的・社会的な対象特性に応じて地域へつなぐ生活調整ができる。
5. 呼吸器疾患看護分野において、役割モデルを示し、看護職への指導を行うことができる。
6. 呼吸器疾患看護分野において、看護職等に対し相談対応・支援を行うことができる。
7. 呼吸器疾患看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとして、役割を果たすことができる。
8. 呼吸器疾患看護分野において、患者・家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護を実践できる。

【認知症看護分野_特定行為研修を含む】定員20名

(目的)

1. 認知症看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践する能力を育成する。
2. 認知症看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
3. 認知症看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
4. 認知症看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(期待される能力)

1. 高い臨床推論力と病態判断力に基づいて、認知機能障害及び身体疾患の合併による影響をアセスメントし、治療的援助を含む健康管理を行うことができる。
2. 認知症の発症からエンドオブライフまで、住み慣れた地域あるいは在宅で生活を継続できるよう、症状マネジメント及び生活機能の評価と支援、家族支援を行うことができる。
3. 認知症の人がもてる力を発揮できるよう生活・療養環境を調整することができる。
4. 認知症の人の権利を擁護し、あらゆる場において認知症の人の意思が適切に反映されるよう、意思決定能力の評価、人的・物理的環境の整備、認知機能に応じた配慮ができる。
5. 地域包括ケアシステムにおいて、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしてケアサービス推進の役割を果たすことができる。
6. 認知症看護の実践を通して役割モデルを示し、看護職への指導を行うことができる。
7. 認知症看護分野において、看護職等に対し、相談対応・支援を行うことができる。

入学料・授業料免除制度

大学院の入学料は282,000円、授業料は年額535,800円(金額は令和元年度)で学部と同じですが、

- ①経済的な理由等により入学料や授業料の納付が困難な方
- ②学校・官公庁・医療機関などに勤務している社会人で入学試験の成績が優秀な方
- ③特別なプログラム等を利用して優秀な成績で入学した方

などを対象とした免除や徴収猶予の制度があります。これは学生本人の申請を受け、審査機関の選考により対象者を決定するものです。なお、この制度は現行(令和元年9月末現在)制度に基づくものであり、今後この基準が変更となる場合がありますので、希望する方は、入学手続の前に学務部松岡キャンパス学務課学生担当(TEL 0776-61-8265)に問い合わせてください。

入学料免除・徴収猶予制度	経済的な理由により入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる方の入学料を免除、又は徴収猶予する制度です。入学前1年間以内に学資を負担している方が亡くなった場合や、本人および学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など、特別な事情により入学料の納付が困難となった方にも適用されます。	
授業料免除制度	経済的な理由等	経済的な理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる方の授業料を全額あるいは半額免除する制度です。授業料納付前6ヶ月以内に学資を負担している方が亡くなった場合や、本人および学資負担者が風水被害などの災害を受けた場合など、特別な事情により授業料の納付が困難となった方にも適用されます。申請は半期毎に必要です。
	大学院入学時成績優秀	社会人で入学試験の成績が優秀な方や、特別なプログラム等を利用して優秀な成績で入学した方の授業料を入学後1年間、半額免除する制度です。なお前期の成績によっては、後期の免除を許可しないこともあります。

授業料免除申請のイメージ(大学院入学時成績優秀者の場合)



奨学金制度

①独立行政法人日本学生支援機構

人物、学業ともに優秀かつ健康であり、経済的理由により修学が困難と認められる方を対象とした、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度があります。

第一種奨学生(無利子)	月額50,000円、88,000円から選択
第二種奨学生(有利子)	月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

これは大学院を卒業後に返還していただく貸与奨学金で、例えば第二種奨学金(有利子)で月額50,000円を2年間借りた場合、返還年数を12年とすると、月々1万円程度の返還額となります。また、第一種奨学金を借りた場合で、在学中に特に優れた業績をあげたと日本学生支援機構から認定されると、奨学金の一部または全部が返還免除となる制度もあります。

この奨学金の申請等は入学後(4月)に学内の掲示板等で案内します。

②福井大学大学院医学系研究科振興奨学金

本学には、将来医学領域または看護領域における優れた研究・実践力を有する医療人を目指す社会人大学院生(ただし、医師として本務先を有する方は除きます)を対象とした独自の奨学金制度「福井大学大学院医学系研究科振興奨学金」があります。この奨学金は返還の必要がありません。

学生本人の申請を受け、審査機関の選考により対象者を決定しますが、申請には指導を希望する教員の推薦等も必要です。この奨学金を希望する方は、入学試験の出願前に学務部松岡キャンパス学務課学生担当(TEL 0776-61-8265)に問い合わせてください。

昼夜開講制度

大学院で看護学をより深く研究するには看護現場での臨床・実践経験が重要ですが、社会人が勤務を離れて修学することは難しく、教育を受ける機会が制約されがちです。

そのため本学では、社会人が離職することなく修学できるように夜間や特定の時間または特定の時期の受講を認めており、多くの学生がこの制度を利用しています(大学院設置基準第14条「教育方法の特例」)。

この制度の適用を希望する方は、指導を希望する教員にご相談ください。

長期履修制度

仕事と学業を調整しながらバランスよく両立したいという社会人学生に対し、長期履修制度があり、標準修業年限2年を最長4年の範囲内で延長することができます。

この制度を申請できるのは、大学院に入学される方および入学後1年未満の方となっています。

なお、申請を希望される方は、合格発表後速やかに、または在学中の方は入学1年目の2月中旬までに学務部松岡キャンパス学務課(TEL 0776-61-8247)に問い合わせてください。

【ポイント①教育課程の比較】

教育課程や必要単位数などの修了要件は標準修業年限(2年)と同じですので、年度あたりの時間的負担が軽減されます。

標準修業年限(2年)	1年目 18単位	2年目 12単位	修了	
長期履修制度適用(3年)の場合	1年目 8単位	2年目 10単位		3年目 12単位
長期履修制度適用(4年)の場合	1年目 6単位	2年目 6単位		3年目 6単位

※単位数は修了までに30単位を取得する場合の参考例です。専門看護師教育課程(CNS)の場合は38単位以上の取得が必要です。

【ポイント②授業料納付の比較】

授業料は原則、標準修業年限分(2年分)を長期履修期間に応じて分割しますので、年度あたりの経済的負担が軽減されます。

標準修業年限(2年)

1年目 535,800円	2年目 535,800円
--------------	--------------

長期履修制度適用(3年)の場合

1年目 357,200円	2年目 357,200円	3年目 357,200円
--------------	--------------	--------------

長期履修制度適用(4年)の場合

1年目 267,900円	2年目 267,900円	3年目 267,900円	4年目 267,900円
--------------	--------------	--------------	--------------

※金額は修了までに1,071,600円(授業料の2年分)を支払う場合の参考例です。

注意事項

※長期履修期間中に修了できない場合は長期履修期間を含めて5年まで在学できますが、認められた長期履修期間を超えて履修する場合には、通常の授業料(年額535,800円)が適用されます。

アクセス



【交通機関】

- 東京 >>> 小松 (飛行機で約1時間)
- 東京 >>> 福井駅 (電車で約3時間半)
- 名古屋 >>> 福井駅 (電車で約1時間40分 バスで約2時間50分)
- 大阪 >>> 福井駅 (電車で約1時間50分 バスで約3時間半)
- 小松 >>> 福井駅 (バスで約1時間)
- 福井駅 >>> 松岡 (バスで約30分)

【所在地】

松岡キャンパス
〒910-1193 吉田郡永平寺町松岡下合月23-3
Tel 0776-61-3111 (代表)

【お問い合わせ先】

松岡キャンパス学務課 大学院担当
Tel 0776-61-8247
Email m-kyomu@ml.u-fukui.ac.jp



松岡キャンパス